羽衣国際大学
DX推進計画（全体象）

令和5（2023）年度

2024.3.20

DX推進プロジェクト

羽衣国際大学DXの推進計画

- DX（デジタルトランスフォーメーション）とは・・・
  「将来の成長、競争力強化のために、デジタル技術を活用して
- 新たなビジネスモデルを創出・柔軟に改変すること」（文部科学省の定義）

↓

「学生の成長のために、デジタル技術を活用して**新たな教育（学習）モデル**を創出・**柔軟に改変**すること」

- ※「**学生の成長**度が最も高い大学として社会的評価を得る」（羽衣国際大学中期計画の目標）

３カ年のDX推進計画（2021～2023年度）

１．授業の反転化 【自律的学習者の育成】
２．動画レポート 【学修成果の可視化】
３．VRによる学生支援 【学生支援の拡充】

＜環境整備＞

AP強化、スタジオ整備、補助人員整備、VRシステム導入

サーバー＆LMS連動システム構築

【事業概要図】

羽衣国際大学

DX推進計画（2021～2023年度）の実施による全学的効果　‘能動的学修を通して自律的学修者を育てる’

2023 ↑ 2021 年度

毎年、学修成果を自らの言葉で表現する（BE the ONE動画レポート）
※2024年3月初回動画レポート提出率100%
※卒業時は4年間の学修成果を動画レポート

1週あたりの授業外学修時間を2倍以上に
2020年度：4.6時間確定
2022年度：5.8時間以上
2023年度：9.2時間以上

デジタル環境を整備し3か年で全授業科目を反転授業化
2022年：25%
2023年度前期：50%
2023年度後期：100%

学修支援

授業評価等のｱﾝｹｰﾄ分析
→学修時間、学修行動の確認　等

ｵﾝﾗｲﾝ学修支援
学修支援ｽﾀｯﾌの配置
ﾊﾞｰﾁｬﾙ学修支援ｵﾌｨｽの試験的導入

BE the ONE 動画レポート
＜学修成果の可視化＞

学修成果可視化システムでのデータ蓄積

課題レポート
ミニテスト

Input
自宅等でのｵﾝﾃﾞﾏﾝﾄﾞ授業
授業内容の確認
予備知識の修得

反転授業

Output
教室での双方向授業
個別指導
ｸﾞﾙｰﾌﾟ・ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ等

教育支援

動画作成の支援ｽﾀｯﾌ
支援学生（SA）の配置

デジタル化支援ｽﾀｯﾌの配置
→動画利用状況の確認
→アンケート及び成績等の分析
→成果検証

年2回のFD・SD研修会の実施

フィードバック

年度

教育環境の整備

- **学内ﾈｯﾄﾜｰｸ環境の強化（APの増強）**
- **動画ｺﾝﾃﾝﾂ配信ｻｰﾊﾞ構築及びLMSとの連携**
- **専用動画製作のｽﾍﾟｰｽ配置及び設備備品の整備**
- **LMS強化①動画配信ｻｰﾊﾞからのログ収集機能**
- **LMS強化②BE the ONE動画レポートの構築**